

P2Mマガジン20号 目次
2023年度秋季研究発表大会 特集号

1.	岡田久典（国際P2M学会理事／早稲田大学上級研究員） 巻頭言「2024年を迎えるに当たって」	1
2.	大和田順子（大会実行委員長／同志社大学教授）、岡田久典（大会実行副委員長／早稲田大学上級研究員） 「第36回国際P2M学会秋季研究発表大会結果報告」	4
3.	P2Mマガジン編集委員会 特集の扉「2023年度秋季研究発表大会 特集号」	8

特集1「哲学とP2Mで拓くソーシャル・イノベーションの地平」

4.	多田 実（同志社大学政策学部教授） 特別寄稿「持続可能な社会実現のためのソーシャル・イノベーション –ソーシャル・マーケティングの視点から–」	9
5.	中嶋 愛（同志社大学政策学部客員教授／スタンフォード・ソーシャルイノベーションレビュー日本版 創刊編集長） 特別寄稿「批判的デザイン思考への道 「魔法の杖」から「小さな積み重ね」への回帰」	13
6.	中島恵理（同志社大学政策学部教授） 特別寄稿「地域循環共生圏とソーシャルイノベーション –長野県富士見町での実践から–」	22
7.	斉藤俊幸（地域再生マネージャー・実務家研究者） 寄稿 「農地の粗放的管理により農村の自立更生を取り戻そう」	28
8.	福嶋慶三（環境省近畿地方環境事務所 環境対策課長 兼 地域脱炭素創生室長） 寄稿 「地域循環共生圏づくりとソーシャル・イノベーション」	31
9.	亀山秀雄（国際P2M学会会長／独立行政法人環境再生保全機構 社会実装支援コーディネーター） 寄稿 「持続可能な社会のためのパラダイムシフト –プログラムマネジメントと環境関連支援組織の視点から–」	43

特集2「地球環境基金特別セッション」

10.	大島 圭子（独立行政法人環境再生保全機構 副主幹） 特別寄稿「地球環境基金による環境保全活動支援の取組み –助成活動へのロジックモデルの導入効果–」	51
11.	森田将義（独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部長） コラム 「一人の100歩より百人の1歩 –環境問題解決に向けた市民社会の担い手づくり–」	57
12.	石川 倫（独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金課長） 図書紹介「松原明・大社充 著『協力のテクノロジー 関係者の相利双里をはかるマネジメント』」	60
13.	横山勝英（東京都立大学教授／NPO法人森は海の恋人 理事） 学会発表奨励賞受賞「リアスの浜における湿地・干潟保全活動に基づく地域再生 –国際P2M学会発表奨励賞を受賞して–」	61
14.	吉田邦夫（東京大学 名誉教授） コラム「ホフステード指数」	64
15.	李洸昊（早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科 講師） 第7回アジア革新的エネルギー・環境化学工学会議（ASCON-IEEChE 2023 KOREA）開催報告	67

追悼特集「故西尾雅年先生を偲ぶ」

16.	亀山秀雄、小原重信、梅田富雄、吉田邦夫、越島一郎、綿木久雄、山本秀男、石川千尋、武富為嗣、久保裕史、田隈広紀 追悼特集 – 故西尾雅年先生を偲ぶ –	71
17.	西田絢子（P2Mマガジン編集副編集長／千葉工業大学准教授） 編集後記「P2Mマガジン20号の発行によせて」	83